

2013年7月18日小冊子『熱風』7月号特集 緊急PDF配信のお知らせ

『熱風』7月号の特集は「憲法改正」です。

この問題に対する意識の高さを反映したためか、7月号は多くのメディアで紹介され、編集部には「読んでみたい」というたくさんの方の問い合わせがありました。

しかし取扱書店では品切れのところが多く、入手は難しいようです。今回編集部では、このような状況を鑑みて、インターネットで特集の原稿4本を全文緊急配信することに決定しました。

ダウンロードは無料、配信期間は8月20日18時までです。

[『熱風』2013年7月号特集「憲法改正」\(852KB\)](#)

- ◆配信期間は本日より、2013年8月20日、18:00までとします。
- ◆無断転載を禁止します。
- ◆編集部では、ダウンロードについてのテクニカルな質問にはお答えできません。
- ◆本件についてのお問い合わせは、こちらまでお願いします。book-ghibli@ghibli.jp

「改憲 もってのほか」 宮崎駿監督 いま声を大に (東京新聞) 2013年7月19日 07時03分



反響に喜ぶ編集長の額田久徳さん。「ジブリ」はイタリア語で「熱風」を意味する＝東京都小金井市で

「憲法を変えるなどもってのほか」。スタジオジブリ（東京都小金井市）が、毎月発行している無料の小冊子「熱風」の最新号で「憲法改正」を特集し、宮崎駿監督（72）が寄せた記事が話題を呼んでいる。全国の書店では品切れが続出。ジブリ出版部は反響の大きさから、「参院選の投票日（二十一日）前に読んでほしい」と十八日、急きょジブリ公式ページで公開を始めた。（樋口薫）

熱風は「スタジオジブリの好奇心」が副題で、毎月趣向を凝らした特集を組む。過去には「デモ」「グローバル企業とタックスヘイブン（租税回避地）」など、社会的なテーマも扱ってきた。

編集長の額田久徳さん（50）によると、今回の特集を発案したのはプロデューサーの鈴木敏夫さん（64）。意見の分かれるテーマだけにためらいもあったが、参院選を前に「ジブリとしての旗色を鮮明にしよう」と腹を決めた。

執筆もジブリの重鎮に依頼。宮崎監督に加え、高畑勲監督（77）が「60年の平和の大きさ」と題して寄稿。本紙に五月、掲載された鈴木さんのインタビューも、「9条世界に伝えよう」として収録された。いずれも憲法九条や改憲手続きを定めた九六条の改憲に反対する内容だ。

宮崎監督は談話形式の記事で「選挙をやれば得票率も投票率も低い、そういう政府がどさくさに紛れて、思いつきのような方法で憲法を変えようなんて、もってのほかです」と明言。また、日本の戦争責任や産業構造の問題点などについても率直に語っている。

十日から全国の書店で配布した約五千部はあっという間になくなった。出版部にも「読みたい」と電話が殺到するなど、過去最高の反響という。「憲法を守るための最大の敵は国民の無関心。興味を持ってもらえたのがうれしい」と額田さん。

二十日に公開される宮崎監督の最新作「風立ちぬ」は、ゼロ戦の設計士が主人公で、戦前が舞台。戦争の直接的な描写はないが、平和について考えさせられる内容も含んでいる。「たくさん考えて投票に臨んでほしい」。それがジブリの願いだ。

<スタジオジブリ> 宮崎駿、高畑勲両監督のアニメスタジオとして1985年設立。「天空の城ラピュタ」以降、「となりのトトロ」「もののけ姫」など、宮崎監督の全アニメ作品を製作。2001年公開の「千と千尋の神隠し」が米国でアカデミー長編アニメ賞を受賞するなど、作品は国内外で高い評価を受けている。